





田舎者の観た 聖市邦人論争

シムケリー 如水生

「南米評論」は堂々たる名の持主である。「不偏不黨中立の獨立評論雑誌なり」とは其のモットーである。吾人は第一號も第二號も見た。三號は未だ見ずに至らぬが其の内容は略して居る。「南米評論」如何に良い名だ、殊にリオの大使田付七太さんの筆になるかの題字が一層に引立つて良く見せて居る。吾人は彼の雑誌を見て直感した。曰く「自己の數刊せる横假名雑誌雑誌の爲めや自己賣名を以てパンを得んが爲め他の悪口を言ひイカモノ雑誌に過ぎぬ」と吾人は新語が如何なる性質を具備すべきものなるや知つて居る、即ち不偏不黨中立立居る處である、然しながらそれがモットー通りに押し通すに忠實なるものは十中八九迄無いと云ふても過言ではない、現に南米評論の如き其の好例ではないか彼が説く所々々にその表裏をモットーを裏切つて居る。

イグアベ植民地 だより

レヂストロ S.M生

兎角色々な批評の絶えなかつた。當植民地も近來めつたり變つて何處も落ち付きが出てどうやら先が面白さうになつて来た、先づ「経済」から云ふて見ると前年以來の生産物相場の不印に引きかへ本年は非常によい。糖價もビンガの相場も飛び切りであるから植民地の元氣も研究とかそんな方面へ向いて居る。以前にはビンガが大分消費されること、風評もあつたが今や何やかやと拍子の音が遠のいて仕舞つた、第一レヂストロのソルターも圓と来た。手付けもなかつたものだが近來は地味なものだ、誰やらがレヂストロ植民地事務所は警察の様に植民地仲々に寄り付けない所だ云々云々。近來は之も段々無くなつた様だ。中には稀に未だどうだらうかなど内中におつてお伺い出来る者もある。相だも餘計な心配だ、マツカ事務所には鬼ばかりは居るまい、衛生の方、北島ドクトルが故人となられてからはお後がないが高野氏の熱心努力はまた一段で何等の欠もなく間に合して居る、且二四奥地へ出張するの外セツパラスも月々行かれる御勤務振りに植民地一同感心感謝の涙を流して居る、その上植民地衛生については殊に意を盡す所あり印刷物まで配布して衛生思想の普及に力められて居る、此の腕利きのドクトルが一人見えたらら鬼に金棒イグアベ地帯の衛生に關しては何の憂ふところ無しだ。宗教上、何等の統一のないのは植民地として一番かなしい點であるが、一氣にも望まれない、順を遂げて此方面にも一段の考慮を拂ふべきだと思ふ、(つづく)

聖市 若人

「名を賣る」は餘り親しみ易い言葉でもない、云つて毛嫌ひしなけれはならない程な言葉でもない。若し買ひ度御仁があるならば買つてやつてもよい位の軽い言葉を帯びた言葉に過ぎない様な心地があるのみだ。それでも若し買ひ取つた人があるとしたら何かしらその人に對して私には薄い侮蔑の影がちらつく。決してその人を惡し様にけなして丁ふ程の念が湧かなくとも微塵も望を馳し得ない氣持がする。

「名を賣る」は餘り親しみ易い言葉でもない、云つて毛嫌ひしなけれはならない程な言葉でもない。若し買ひ度御仁があるならば買つてやつてもよい位の軽い言葉を帯びた言葉に過ぎない様な心地があるのみだ。それでも若し買ひ取つた人があるとしたら何かしらその人に對して私には薄い侮蔑の影がちらつく。決してその人を惡し様にけなして丁ふ程の念が湧かなくとも微塵も望を馳し得ない氣持がする。いつの世にもいづれの所にも斯うした俗氣の溢れた御仁が多々ある、近々此所ブラジルの都にも田舎にも邦人間に此の兒戯のやうな商賣氣のある人が割合に多いのが眼につく。事ある毎に自分の名を連ねて得々たる輩其の心事を酌めば餘りに慘めだ目的とする處もなく抱負経倫些も見るとなく恰も古朽政客の傳統的軌範を以てす唯その猪頭を晒して満面笑を洩るものさだだだけの大差ある。

業車働自賃 Garage Congresso Praça João Mendes Telephone Central 81. 大福旅館 日本旅館 廣島屋旅館. Semente de algodão da M. Silveira & Cia. 綿種子販賣. 州政府保証のボルバ式消毒法に依り消毒した棉種子のノロエスチ地方一手販賣店シルベイラ商會の種子を取次販賣致します。相馬 速

て来た時、聖邦人發展の曙光も極頭して来たものと見られよう、晴れ行霧の彼方から赫耀たる光を望む。今や邦人の前途を輝らして居る一條の明りのやうな觀があらう。然しながら近々聖市を中心として起つた暗雲まだ低垂垂れ果てて風を方向を迷つて居るやうだ。唯一つの此の小問題が斯うした渦の中にその行手を見出さず、ひいて邦人發展の途を幾分でも阻止しようとして居る私にはそのいささつを悲しむより寧ろ嘆ひ度くなる。吾等若人の前途を導くとして邦人發展を念とする誠意ある有識先覺者よ、力あるリーダーよ、危候の本を懐かしむる勿れ、名を賣る輩は永遠に唯名を賣る輩として葬られよう。區々たる毀譽褒貶を掛念せず其の目的に猛進せよ。人を相手とせず天決して腰拔けはなかつた。

Egreja Japonesa Rua Conde Sarzedas 23 Caixa 1114 S.Paulo. 市 聖 日 本 人 基 督 教 會. おてるわすたそん 宮平市榮. 廣島屋旅館 小川源右門門 聖南コンヂ街、五十三番 電話セントラル五八一九

旅人雜筆

青海川

旅こそは、自由なる世界、名を名...

○

ハインが「東京より」の手紙の中...

○

芭蕉が諸國を旅してあるいたとき...

○

「古池や蛙飛び込む水の音」も此...

○

「この」の著者の麗はしくも、し...

○

異郷の旅にして、ハインを懐ふ。

藝術と無産階級

子ツクス

我々の時代は、凡ての類廢期に於...

○

不幸にも新興無産階級、この要求...

○

「例へば、無産階級は現在建築を...

○

葉は、全然、無意味である。マルク...

○

「例へば、無産階級は現在建築を...

○

過さし日の疲のあと

皮の汽車は今

何處を過ぎやうとする

無心で聞きた言葉に

○

眼にも見えない晴れの衣を

○

工場

○

工場

○

工場

○

工場

尋人

山形縣飽田郡藤岡村

山口縣玖波郡柳井町三六九

○

尋人

○

尋人

○

尋人

○

尋人

○

尋人

ひらた旅館

館主 平田 崎 太郎

東京館

○

日光館

○

港旅館

○

成功館

○

御旅館旭

○

御旅館旭



伊達騒動

第七十三席

鐵之助白河を出立す

然し松前氏も時刻も遅きはから何れにお出になるにせよ何れ近くに宿を取らなければならぬ今晩は白河へ一夜泊りなさい相當の準備をいたすから鐵之助は承けず折角の御一言御辭退いす事無さず片倉の家來矢出左衛門、島村、小、夫は千萬泰じけなさいアアアア片倉の案内をいす、と夫から鐵之助を白河城に案内せしめし、扱片倉小十郎は松前鐵之助を連れて白河の城へ案内をいたし別間へ控へさせて置きまして小十郎は主人の御用え大守の御待遇をいたしお立歸りに相成つた後改めて鐵之助を廣間へ通過して於ては其方共兩人切腹申し付ました浪人して流石は松前志摩守の守の次男物に懸るこいふことはごも大變な役をいひつかつて兩人俄かに仕度をして跡からドノノ中掛けました、鐵之助が出立してよりの今時間はいふ、稍三十分ほどの後出て出ましたのでございませう、足早め追つて参りました、辛ひ向ふの方、鐵之助の行くのを見當りましたから、鹽梅だと思ひ、夫より見え隠れについて参り、鐵之助が茶屋へ這入つて休めば自分等も夫より少し離れた茶屋へ這入つて休み成るだけ知れぬようにしてついで参ります、内河原の宿へ入りまして、さする間に河原の宿へ入りまして、處が何時の間にか見失なつて終つた、サア矢田島村の二人はのみ只眼をなつて尋ねたが知れない、太田屋松兵衛といふ宿屋の門へ参りまして、三三、コレ一寸尋ねるが、松被來しやいま、御一人様でございますか、只今お彼方の亭主と懇話が、松、夫は向ひ合は、勿論様々の事、立派なもので、此處を大きな武士が通つたか、松、作然、は一寸参つて、拙者共が申し、だ、この位の人を他家へ奉公をさせ

Fujisaki & Co. Rua São Bento 68 A Tel 2788 - Central Caixa 344 São Paulo 日本雜貨 藤崎商會 支店 サンパウロ、ルア サンベント六八、A

Y. KINJO DENTISTA 齒科醫 金城 山戸 聖市アフォンソ、ベナナ街三三七 電話 シダーデ六二六六七

Csaka Shosen kaisha 發着廣告 日本、めきしこ丸 日本、じかご丸 聖市、ポニータ十一番 郵函 一三二五 電話 五七〇一

Dr. Takaoka Medico e Operador 醫師 高岡專太郎 聖市、ファグンデス街八 電話 セントラル四一八〇

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD Rua da Candelaria No. 23 Caixa No. 380 RIO DE JANEIRO 横濱正金銀行支店 リオ、デ、ジャ子イロ

三共商會 肥料 肥効 千魚 節 辛 K 發賣元 サントス市ルア、セナドールダタス五十五番 電話 セントラル三〇五四番 カイ、ジャ、三二八番

FERNANDO HAKRAUT Co Rua e S. Bento, 33 2 andar sala 7 Caixa, 948 São Paulo, 肥料 肥効 作物に肥料は一番大切で、弊店の肥料は 獨逸式、辛、綿、野菜、咖啡、ミリオ等夫々別 の肥料を差上り、品物は極上有効です 四月十五日より一噸に付十ミル宛値上げす 本人諸君には特に御便宜を計りま